

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年6月27日

評価対象事業		評価者	教育センター所長 泉 昭子		
教育-37	実施事業	教育情報事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	教育センター
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	学校教育	施策の方針	教育内容・教育環境の充実	

1 事業の目的

対象	市立小・中学校の児童生徒等
意図	郷土学習の補助として、小・中学校の理科・社会科の学習資料を発行して郷土の理解を図るため
効果	児童生徒が、鎌倉についての郷土理解と郷土愛を育むことを図る

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 市内小・中学校の郷土学習の学習資料を作成し配布した。 「かまくら子ども風土記」を発行(販売)し、情報の提供を行った。 教育情報の収集・提供を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	1,980	4,946	当初予算(千円)	2,648		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	1,980	4,946	一般財源	2,648		
事業経費運営	人員配置数	1.0	1.0	人員配置数	1.0		
	人件費(千円)	7,748	7,731	人件費(千円)	7,796		
	総事業費(千円)	9,728	12,677	総事業費(千円)	10,444		
	市民1人当りの経費(円)	55	72	市民1人当りの経費(円)	59		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	今後も郷土学習の補助として、小・中学校の理科・社会科の学習資料を発行して郷土の理解を図る必要があると考える。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の郷土学習に活用するために、理科・社会科の学習資料を作成し、毎年配付している。 平成30年度(2018年度)は「教育課題研究会」にて、「かまくらっ子の意識と実態調査研究」第11集の発行に向け、本調査を実施した。 「教育資料研究会」にて、「かまくら子ども風土記」第14版刊行に向けた改訂作業を行い3月に発行した。 平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第三巻」<平成編>刊行準備委員会にて資料収集・執筆を行っている。
-------------------	--

平成30年度(2018年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	「かまくらっ子の意識と実態調査研究」第11集の発行に向けた準備を行う。 ・「教育資料研究会」にて、「かまくら子ども風土記」第14版刊行に向けた改訂作業を行う。 ・平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第三巻」<平成編>刊行準備委員会にて資料収集・執筆を行う。	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	・「教育課題研究会」にて、「かまくらっ子の意識と実態調査研究」第11集の発行に向け、本調査を終え、調査結果の考察を始めた。 ・「教育資料研究会」にて、「かまくら子ども風土記」第14版刊行に向けた改訂作業を行い。3月に発行した。 ・平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第三巻」<平成編>刊行準備委員会にて資料収集・執筆を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・「教育課題研究会」にて、「かまくらっ子の意識と実態調査研究」第11集の発行に向け、調査結果の考察を行い、報告書を作成する。 ・平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第三巻」<平成編>刊行準備委員会にて資料収集・執筆を行う。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位						指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方								
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--